

簿記の応用

● 講座のねらい

簿記の級を有する又は相当の知見を有する職員が、財務諸表・決算書の見方や分析方法をさらに理解し、監査（検査）や指導等の実務に役立つ知識を習得する。

● 研修について

【対象者】 簿記の級を有する職員、または相当の知見を有すると各市町村担当者が認める職員

【日程】 第1組 令和8年8月 5日（水）～ 6日（木）
第2組 令和9年1月21日（木）～ 22日（金）

【会場】 自治研修センター

【予定人員】 各組30人

1泊2日

【講師】 関口経営事務所 関口 康尚 氏

● カリキュラム（2日間）

	午前	午後
1 日 目	(9:30~10:00) ・オリエンテーション (10:00~12:00) ・振り返り	(13:00~17:00) ・貸借対照表の概要と分析 ・損益計算書の概要と分析
2 日 目	(9:00~12:00) ・振り返り	(13:00~16:00) ・キャッシュフローの概要と分析 ・総合演習 (16:00~) ・閉講式

● 受講者の声

- 具体的なイメージを描いて経営分析の演習ができ理解が深まった。さらに簿記を学習するモチベーションが高まった。
- 簿記のルールだけでなく、企業の生きた数字を見ながら特徴を見出していくところや、数字に隠れたいろいろな企業の活動状況を想定していくところがとても勉強になり、今後の視点の向け方が変わった。講師も企業の経理だけでなく、経営や営業、コミュニケーション力などあらゆる角度からみた簿記について語っていただき、とても面白かった。

● センター職員からの オススメポイント♪

実務演習を通じて、簿記の知識を民間企業はもちろん公営企業でも活かせる力に。財務諸表を読み、組織の状況をイメージして分析する力を楽しく身につけることができます。